

相馬港[沖防波堤]災害復旧工事 ケーソン進水始まる

沖防波堤の復旧工事 着々

相馬港では現在、東日本大震災で甚大な被害を受けた「沖防波堤」の復旧工事を急いでいます。

このたび、陸上にて製作しておりました鉄筋コンクリート製のケーソン24函が完成し、海上仮置場へ移設（進水）する工事が開始されました。

ケーソンの大きさ（今回製作）

- ・長さ：20m
- ・幅：15m
- ・高さ：12m
- ・重さ：1,800ト



ケーソンの陸上製作の様子

国内最大級の起重機船「洋翔」による吊り降ろし作業

ケーソンの吊り降ろしには、国内最大級の起重機船（4,000ト吊クレーン船）「洋翔」が使用され、2月4日までに24函のうち、6函の進水が完了しており、今月下旬までに残りのケーソンを進水させる予定です。



▲ケーソン吊り上げ



▲ケーソン進水（仮置場へ移設）



▲ケーソンを陸上から海上へ運ぶ様子

起重機船「洋翔」

- ・長さ：120m
- ・幅：44m
- ・深さ：7m
- ・総トン数：10,768t
- ・高さ：約150m【東京タワーの大展望台と同じ高さ】



国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所
〒971-8101 福島県いわき市小名浜字栄町65
TEL: 0246-53-7100
URL: <http://www.pa.thr.mlit.go.jp/onahama/>